

# 第4分科会

## 住まいの貧困と向き合い、 克服への道すじと展望を探る

### 【ねらい】

「住まい」は、すべての人にとって必要不可欠な生活の基盤です。しかし今、ネットカフェ等で夜を過ごす人々の増加、貧困ビジネスによる困り込み、障害があっても生活しやすい住宅の不足、公営住宅の絶対的な不足、低所得者、高齢者、障害者、女性や母子家庭、外国人など、「住宅弱者」が賃貸住宅を確保できない問題など、「住まいの貧困」が深刻な社会問題になっています。「住まいの貧困」の実態と向き合い、克服への道すじと展望を探ります。

### 【報告】

日本の住宅政策の歴史と現状、今日的な課題を考える

蔵田 力さん（建築家、「住まいは人権」の実現めざす連絡会代表）

生活保護の基準・制度運用と“住まい”の最低保障

小池直人さん（名古屋市港区社会福祉事務所）

ホームレス支援の現場から見た法・制度の現状と問題点

髯本 郁さん（NPO 法人神戸の冬を支える会）

福祉コミュニティをめざす居住支援実践の現状と課題

～京都・東九条における3つの実践を中心に～

石川久仁子さん（大阪人間科学大学）

【司会・進行】 西村清忠さん（きょうされん京都支部）

今村雅夫さん（大津夜まわりの会）